

第3回北海道遊技産業合同 「すすきの ごみ拾いボランティア活動」を実施

回胴遊商では、近年、各支部単位で地域に根ざした環境保全活動を実施しております。

北海道支部においては、9月9日(火)に(一社)日本遊技関連事業協会 北海道支部、北海道遊技機商業協同組合、札幌遊技業協同組合、(一社)すすきの観光協会、札幌方面南警察署員、札幌方面中央警察署 薄野交番、豊水連合町内会と合同で誰でも参加できる身近な『ごみ拾い』でよりよい北海道の環境を未来に残していくことを目的に、北海道の観光の顔である「すすきの地区」において第3回目となるごみ拾いを実施いたしました。

当日は殺陣(チャンバラ)をメインに唄と踊りを取り入れたストリートパフォーマンスグループで、地球にやさしいエコへの取組み(ごみ拾い、エコバック、マイ箸)を実践している「ごみ拾い侍」をお呼びし、各団体併せて約250人のボランティアが11チームに分かれて9時30分から12時までの2時間、「すすきの地区」でごみ拾いに汗を流しました。

今回拾い集めたごみの量は120リットル袋12個にもなり、ごみの種類としては、たばこの吸い殻、空き缶、ペットボトル、傘などが目立ちました。

終了後、参加者からは、エコへの取組とパフォーマンスを融合させた「ゴミ拾い侍」が参加してくれたことで楽しくごみ拾いができたとの声や来年以降も継続してやりたい等の声が挙がりました。



【ごみ拾いの作業風景】



①「ごみ拾い侍」がパフォーマンスをしながら火バサミを手にごみ拾い。



②植え込みにはペットボトルや吸い殻などのごみがたくさんありました。